

いちご栽培管理 (R7.4.)

(有) 丸 富

3月には暑さ寒さも彼岸までと言われるが、前半は冬のように冷え込み、後半は夏のように暑くなった。近日点でアザミウマ、アブラムシ、ダニなど害虫の発生が多かった。暑くなって収穫量が増え、品質が低下し、価格が下がった。

過熟・軟果対策

高温の影響で過熟や軟果が増え、品質の低下が多くなる。できる限り冷やして、過熟防止を行うと共に、事前の肥培管理で果実の軟果を抑える。

果実の軟果抑制に**酸カル 1,000 倍**と**時を越えた贈り物 2,000 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を散布する。

灌水で**酸カル 200 cc/10a**と**時を越えた贈り物 100 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を液肥混用する。

害虫対策

暖くなると害虫の発生が多くなるので、注意して観察を行う。害虫対策として防除前に**バイオアクトTS 50~100 cc/10a**を灌水する。ハウス周辺の環境変化(除草、草刈り、防除)にも注意する。

害虫の繁殖抑制に**バイオアクトTS 2,000~3,000 倍**を防除時に混用する。

ねづみ、害虫の予防に**バイオアクトTS 50~100 cc/10a**を3~7日ごとに灌水する。

肥大促進

暑くなると着色が早くなるので、果実が小さくて熟れる。できる限り温度を下げて、果実の肥大を図る。

肥大促進に**デコナール 500g/10a**と**サンミネーラ 50g/10a**を灌水する。(1ヶ月に2回)

発根促進

地温が上がると根の働きが活発になる。酸素供給を行い、細根の働きを高め、養分吸収力を向上する。

根の強化に**グリンスター 0.5ℓ(発根力 1ℓ)/10a**と**Gバランス DF 1 kg/10a**を1ヶ月毎に灌水する。

親苗管理

近日点では養分不足になると、花芽分化しやすいので、肥料切れしないように苗の管理を行う。

親苗の防除時に**天地の恵み 1,000~2,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を混用散布する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 1~2 kg/10a

時を越えた贈り物(又は、天地の恵み) 100~200 cc/10a

サンミネーラ 50~100 cc/10a

バイオアクトTS 50~70 cc/10a

5~7日毎に灌注、散水する場合

※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シリアップ 100~200 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50~100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)